

第11回

[日 時] 平成29年10月14日（土）18:30-20:30

[場 所] 石巻専修大学5号館 3階学生ホール

[テーマ] 「茶道を日常生活に生かす」

[使用したテキスト] 『耕人』 第5号.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

[活動内容詳細]

●挨拶

横江運営委員長から、3点について話されました。

一つ目は、「しなやかさ」とはどういうことか塾生に問いかけ、様々な価値観を受け入れることの大切さについて話されました。

二つ目は、耕人塾で大切にしている挨拶についてです。「こんにちは」「こんばんは」と「おはようございます」の違いにも触れ、「おはよう」に続く「...ございます」には、一日の始まりを迎え、感謝と敬意をもち、お世話になりますという意味が込められていることについても話されました。

最後に、利休百首の中に「規矩作法守りつくして破るとも、離るとても本を忘るな」と茶道の基本を歌っている言葉にも触れ、「守・破・離」の言葉と「本質を忘れないこと」を塾生に伝え、激励しました。

●講師紹介



講師は、表千家教授石田邦子先生。元中学校の体育教師で校長先生も務められ、ご退職後は東松島市教育委員会のいじめ相談員もされた方です。毎年、耕人塾の茶道体験の講師としておいでいただき、日本の伝統文化やそこに流れる精神について、塾生にも分かりやすく教えていただいています。

●茶道体験





まず、茶室への入り方から一連の作法を教えてくださいました。一畳6歩という畳の歩き方、掛け軸や花入れ、茶器等の拝見の仕方、「お先に頂戴します」「お点前頂戴いたします」「もう一服いかがでしょうか」「十分に頂戴しました」等の言葉、茶碗の正面の扱い方等、全ての作法には、亭主、同席する方、茶器等に対する気遣いがあることを確認しました。



その後の体験では、不慣れな作法に戸惑う塾生も見られましたが、丁寧なご指導のおかげで全員が一連の作法に則ってお点前を頂戴することができました。いい緊張感の中で、貴重な体験ができたようでした。

●講話「茶道を日常に生かす」



お点前を通して、その作法だけでなく根底にある精神を身に付けてほしいとの願いから、次の2点に重点を置いてお話をされました。

- 今日何度か口にした「お先に~」という言葉は日本独自で、相手を気遣う心の表れ。普段から「お先に」を使う人が増えれば、みんなが気持ちよく過ごせるようになるのではないかと。耕人塾生には、ぜひ自信をもって「お先に」と言い、広めていってほしい。
 - 「一期一会」を大事にしてほしい。今日と全く同じ場所、人、物でお点前をすることはないからこそ、茶道では、その場、その時をととても大切に。みなさんも、出会いを喜び、楽しみ、大切にしてほしい。
- 昔からの作法も心に留めつつ、考え方や精神の部分で日常生活に生かせるところは生かしてほしい。

●班別討議・全体学習

本日の茶道体験や講話を通して学んだことを個人で整理した後、班で伝え合い、全体で共有しました。「お先という言葉積極的に使っていきたい」「一期一会の精神を大切に、一瞬一瞬を大切にしていきたい」「今回学んだこと、日本人らしさを大切に生活していきたい」等の感想が聞かれました。



●次回予告

平塚指導委員長から、これまでに学んだことを生かし、「思いを行動に起こす。できることからやる。」という宿題が出されました。次回のプロジェクトⅠまでに、各自が何かしらの実践をし、成果や反省を持ち寄ることになります。

●閉会の挨拶

舛田運営副委員長から、本日の学びを実生活に生かしていくことに加え、今日の茶道体験を実施するに当たって、どのような準備がなされたのか想像するという視点を持つことの大切さについて話されました。

メニュー

ホーム

耕人塾の活動

令和2年度の活動

令和元年度の活動

平成30年度の活動

平成29年度の活動

第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

第6回

第7-8回

第9回

第10回

第11回

第12回

第13回

番外編 実践活動

学生部

平成28年度の活動

平成27年度の活動

平成26年度の活動

平成25年度の活動



平成24年度の活動

報道・受賞